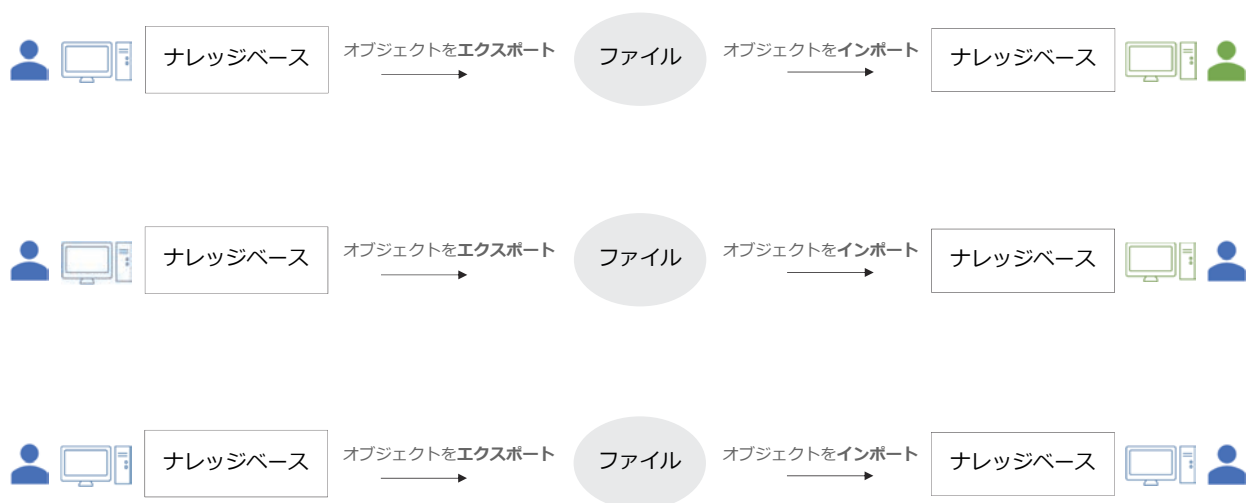


# GeneXus オブジェクトのエクスポートとインポート

GeneXus™

## オブジェクトのエクスポートとインポート



開発者間でオブジェクトを共有したり、統合したりすることが必要になる場合があります。

また、ある PC でプロジェクトを開始し、それを別の PC で続けることになり、ここまでに定義したオブジェクトの移行が必要になる場合があります。

その他、異なる PC 間でなくても、自分が実装したオブジェクトをバックアップしておき、自分の PC に取り込みしたり、別のプロジェクトで再利用したりできます。

GeneXus を利用したチーム開発の場合、オブジェクトの変更管理などを行うためには、GeneXus Server を使用します。

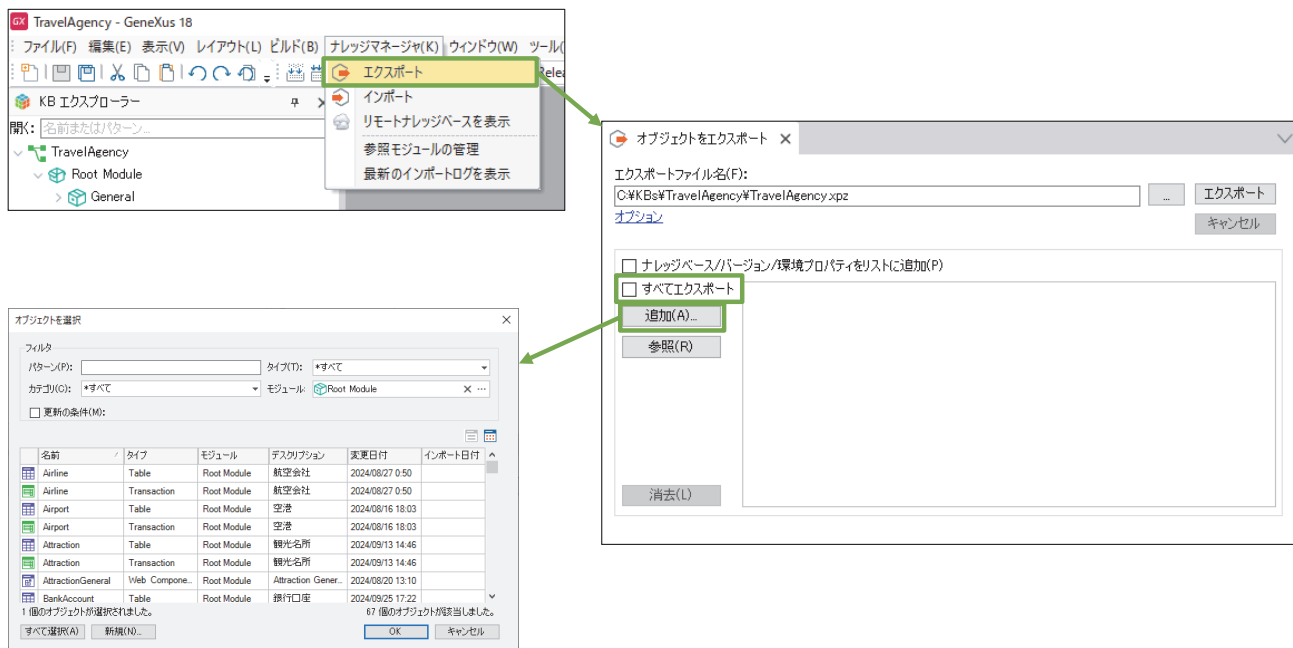
このツールについては、本コースの中で、改めてご紹介しています。

しかし、ナレッジベース内で行われた変更の維持が不要で、前述のように、いくつかのオブジェクトをある場所から別の場所にコピーするなど、よりシンプルな方法が必要になる場合があります。

このような場合に、エクスポートとインポートを実行できる必要があります。

GeneXus におけるこの機能を見てみましょう。

## オブジェクトをエクスポート



それでは、初めに「エクスポート」機能から紹介します。

この機能では、現在開いているナレッジベースから、任意のオブジェクト定義情報をファイルへ出力することができます。

出力する際のファイル形式は、xpz という拡張子となります。

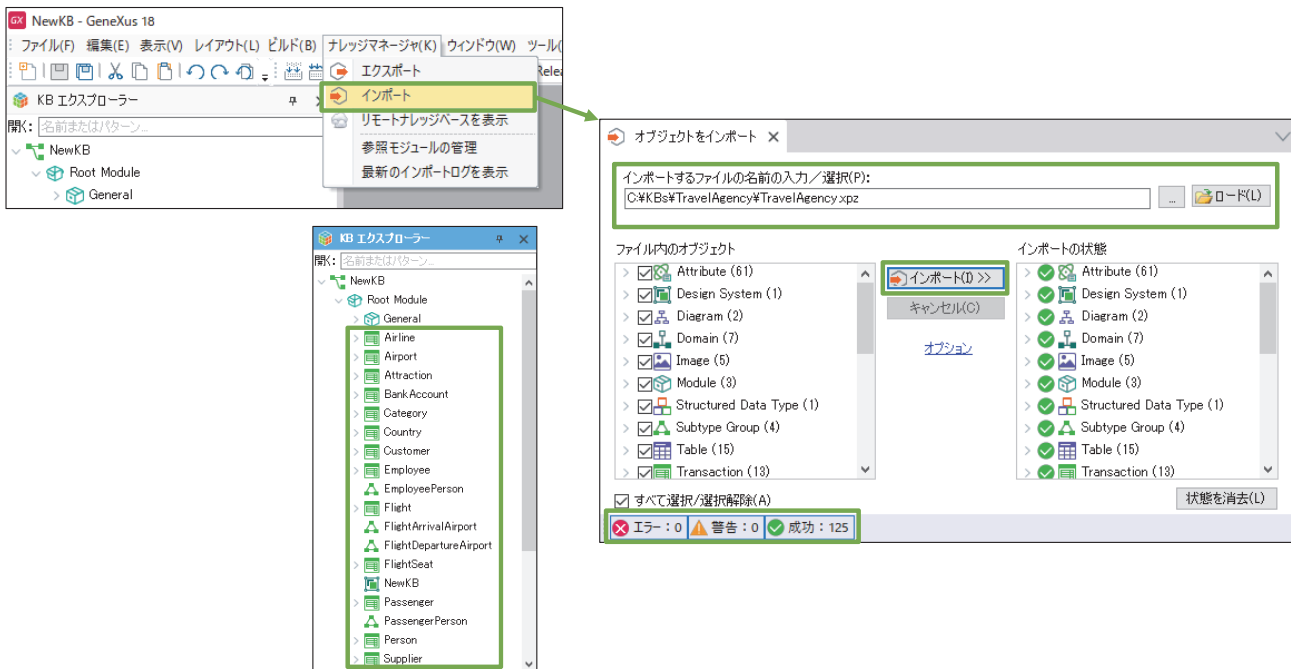
エクスポート機能を利用するためには、メニューバーの [ナレッジマネージャ] → [エクスポート] をクリックします。

表示された「オブジェクトをエクスポート」ウィンドウで、次の操作を行います。

- 生成ファイルパスおよび名前の指定  
「エクスポートファイル名」という入力欄で、エクスポートファイルを出力するフルパスを指定します。  
そのため、出力先となるフォルダおよび、ファイル名を指定します。
- 対象オブジェクトの選択  
エクスポートするため、対象のオブジェクトを選択する必要があります。  
ナレッジベース内のすべてのオブジェクトをエクスポートする場合、  
「すべてエクスポート」チェックボックスにチェックします。  
「すべて」ではなく、任意のオブジェクトのみをエクスポートしたい場合、  
「追加」ボタンをクリックし、表示される「オブジェクトを選択」ダイアログにて、  
対象のオブジェクトを選択します。  
一度に複数のオブジェクトを選択することも、1 つだけ選択することもでき、  
選択したオブジェクトは、ウィンドウ内中央の枠内に表示されます。  
任意のオブジェクトを選択する場合、[KB エクスプローラー] ウィンドウから  
対象のオブジェクトを直接このウィンドウ内中央の枠内へドラッグして  
対象とすることも可能です。

最後に、「エクスポート」ボタンをクリックすることで、指定されたパスに、指定された名前で、選択したオブジェクト定義を含むファイルが出力されます。

## オブジェクトをインポート



続いて「インポート」機能について紹介します。

この機能では、現在開いているナレッジベースへ、ファイルから任意のオブジェクト定義情報を取得することができます。  
対象のファイル形式は、xpz という拡張子となります。

インポート機能を利用するためには、メニューバーの [ナレッジマネージャ] → [インポート] をクリックします。  
表示された「オブジェクトをインポート」ウィンドウで、次の操作を行います。

- 取り込みファイルの選択  
「インポートするファイルの名前の入力/選択」という入力欄で、インポートするファイルのフルパスを入力するか、選択します。  
選択した場合、自動でファイルの内容が読み込まれます。  
もし、ファイルのフルパスを手入力した場合、「ロード」ボタンをクリックすることで、ファイルを読み込みます。
- 取り込みオブジェクトの選択  
インポートするファイルの読み込みが完了すると、「ファイル内のオブジェクト」という枠内に、オブジェクトの一覧が表示されます。  
既定ですべて選択されていますが、チェックボックスで必要に応じてインポートするオブジェクト、しないオブジェクトを選択できます。

対象のオブジェクトが決定したら、画面中央の「インポート」ボタンをクリックします。  
画面右側に表示される「インポートの状態」という枠内に取り込みが成功したのか、警告やエラーが含まれているかというアイコンとともに状態が表示されます。  
また、ウィンドウ下部には、すべてのエラー、警告、成功の件数がサマライズされた表示もあります。

インポートが完了すると、[KB エクスプローラー] ウィンドウで、オブジェクトの取り込みが行われたことが確認できます。

オブジェクトのインポートとエクスポートには、ここで紹介していないオプションがありますが、本コースでは取り扱いません。

*GeneXus*<sup>™</sup>

[training.genexus.com](http://training.genexus.com)  
[wiki.genexus.com](http://wiki.genexus.com)